

奨学生から寄せられたお手紙紹介

ユネスコ協会就学支援奨学金



この度は、奨学生決定通知 ありがとうございます。

私は 東日本大震災の時、両親が 出かけていて いなかったり、近所の方々に導かれ、
携 4年生でした。
 小学校に避難しました。両親とは 夜更時過ぎに やっと会えたのもつかの間、
 すぐ、原発事故の為、双葉町の人が全員避難しました。避難所では
 老若男女が 詰め、とほくにくれた 荷が 強く印象に残っています。小学生ながら
 私は その時の 町役場の方や 地域の方や テキパキ とした 行動に
 感動しました。同時に緊急時に 人のために 行動ができる人間 になりたいと
 強く思うようになりました。

今、現在も 避難生活を強いられ 中学3年生という 人生の 節目に 立ちました。
 志高く 目標に向って 努力できる人間を目指し、
 目の前の 高校受験 が がんばりたいと思います。

私たちの中学校は壊滅的な被害を受けました。ぼくは、その
 当時 中学校ではなかったため、ぼくが今いる 中学校は、そのため
 に 仮設校舎になり、そこで、学校生活を送っています。大震災
 のとき、両親の会社が被害を受け、普通に仕事を出来る状
 態ではありませんでした。特に父の会社は水産業だったので、
 大変でした。魚がとれるまでは、かたづけにあわれ、かいこされま
 した。そのため、収入が減ったため、このような支援をしていただ
 けることになってとても助かりました。ぼくも高校に入って勉強や
 部活をがんばりたいです。そして、この奨学金のために募金を
 してくださった方々 ありがとうございます。今でも、健康に学校
 生活をくらしています。

震災の起こった直後は何が起こったの理解が出来なかったり
 これからの 学校生活がどうなるのかわからず
 不安の連続でした。
 だが、お父さんが 死ななかった結果
 新しい友達も増え、不安な日々はなくなりました。
 家庭でも、初めは大変な事ばかりだったけど
 今は、この生活にも慣れ充実した日々を送っています。
 高校では、勉強や部活動などに力を入れ
 充実した学校生活を送れるように努力したいと思っております。
 最後に、支援奨学金の募金、本当にありがとうございます。

震災のとき、僕は 小学4年生でした。学校が早く終り、近所の友達の家で
 遊んでいたとき 地震がありました。お父さんの外に出てゆれがとまるのを待っていました。
 ものすごくゆれ、ものすごく強い地震でした。とてもこれがたのを覚えています。
 その後すぐ、お父さんが 走ってお父さんにきて出て、僕が乗、ママを 自転車で 11と12
 家に 帰りました。そしてみんなが 11と12 助かりました。うちの学校は 家から4kmくらい
 離れているので、小学5年生からは、としまで バスで来たが 自転車で通う事になりました。
 でも11と12のころが、せいりいっけいって 自転車を おいっていったので、津波でくしゃげ
 になってしまい、せ、かくお父さんに 買ってもらったのをとても悲しかったです。

受験合格！
 高校で
 頑張ります！



もう12と 5年になりましたが、たくさんの人たちから助けてもらっています。
 まだ、何も返すことはできませんが、いつか返すことが出来るようにがんばります。
 まず 高校に合格しても勉強しないといけないかと思、ています。
 合格して この奨学金を有効に使わせていただきます。
 日本ユネスコ協会の方、全国の支援者の方々 本当にありがとうございます。

保護者から寄せられたお手紙紹介

ユネスコ協会就学支援奨学金

三年間ありがとうございました。

私自身は、あの日津波により流出全壊、即避難所生活へ一変致しました。

楽しい中学生生活を夢んでいたはずが……

でも、里佳は、その日から夜遅くまで車の中で勉強していました。

何か、自分で考えたいのでしょう。

三ヶ月後、仮設住宅が与えられ家族6人での生活が始まりました。

そして、高校受験の時期により希望が叶い、高専へ行きたい。また私自身も進路を迷い、進級しては思案していた折、貴協会からの奨学金が受けられることになり、しかも、初年度は、入学準備にとさかのぼって支給されたことは大変有り難く思いました。「ユネスコ協会就学支援奨学金」に募金された方々へ心から御礼申し上げます。本当に感謝しております。

私自身も昨年暮漸く再建いたしました。

里佳は進路第三学年に進級致しましたことご報告いたします。

三年間支援して下さいの方々と、事務局のお心から御礼申し上げます。

世界の平和を祈念し御礼に代えさせていただきます。

東日本大震災で、精神力も体力も失くしていた中で、日本ユネスコ協会連盟様によりお助け頂き続けました三年間の御恩は、一生忘れることなく、強く、心と体で受けとめて、生きて行けることでしょう。

食へること、眠ること、学ぶこと、安心して生活させることが出来ました。

本当に、じより、ありがとうございました。

3年間の支援にたいしあらためて感謝申し上げます。

5年前発生した、あの災害時は、こわらの展望が見えませんでした。

息子も混乱していたと思います。しかし、この奨学金制度を

利用させていたおかげで、無事、中学から高校へと進学できて、本当に安心しています。

この間、いろいろな事がありました。良い事も悪いことも全て含め、「生きているがらこころの苦痛や喜びなどを

考えています。ユネスコの理念に賛同し、支援に参加して

くださった皆さまに感謝することも、こわらと私と家族の

理念を胸に、ユネスコの活動に協力しております。

最後になりましたが、こわらも、5年前のあの災害が少しも

減っていくことを願い、3年間の感謝にお返しさせていただきます。

高校入学前より、3年間多大なご支援を頂き、ありがとうございました。

震災で全てを失った私達にとって、皆様のご支援は、希望を支えて下さいました。又、息子も高校生らしい生活を送れたことと思っております。

それぞれ就職先、進学先が決まり、ひと安心すると共に、支えて下さいました皆様への感謝の気持ちを胸に、社会で活躍することを機待しております。

震災から5年たちりましたが、良くも悪くも突然はありありとせん。津波で家屋を失い、放射能で古里を失いました。津波で失った財産に対して賠償はありません。こわら自力で住み場探しを見つ、家を建てるつもりです。

唯一の救いは子供達が登校拒否もなく学校に通ってくめることです。

ユネスコ協会には成田市に避難した時にあつと手直しのお礼を頂戴。学用品の準備や、慣れな土地での行事へのお返し、暖かいお話をたくさん頂きました。更に、相馬市に来ても支援を頂き、奨学金のみならず、被災した子供達を見守って下さる方々の存在に感謝致しております。子供達は被災した経験を経て、強く歩んで行くだろうと期待しております。ありがとうございました。

3年間に渡り、言葉では言い表せない程の多大なご支援をいただき、誠にありがとうございました。あのガレキの中を自転車で中学校まで通う経験から5年が経ち、我が子は今では立派な高校3年生へとなりました。これも皆様方のご支援のおかげで感謝しております。産後お返しはない方々であっても、あれほど支援してくださっているのに、心強いです。被災した沿岸部より内陸への初帰省を終り、今度も皆様の支援への感謝の気持ちを胸に抱き、日々を過ごしていきたいと思っております。ありがとうございました。